

畜産特別資金利子補給事業に係る 利子補給金請求等の記載例

(平成27年度版)

公益社団法人 中央畜産会

畜産特別資金利子補給事業に係る利子補給金請求事務の

手引・記載例の利用について

- 1 記載例は、利子補給契約締結、貸付実行、異動、利子補給金請求、事業実績報告の各場面を網羅しています。
- 2 報告に添付する資料を例示し、当会と融資機関報告データとの整合性を確認するよう、事務処理に即して作成しています。例示内容は、貸付実行及び一部繰上償還に添付して貸付条件を確認するための返済計画表、異動報告に添付して日付、金額、貸付条件を確認するための、取引履歴照会、返済計画表、精算書、個体識別情報等です。
- 3 2で報告内容、添付資料を把握した上で、畜産特別資金融通事業実施要領及び利子補給金請求の手引（平成27年度版）により、報告及び添付資料を作成して提出することに取り組んで下さい。
- 4 1にある記載例は下表のとおり18例です。記載例にある融資機関、貸付対象者、貸付条件等は下表の次にある〔記載例の融資機関、借入者、畜特資金の概要〕を中心に事例を作成しています。
なお、下線部分は報告等の一部を他の記載例を参照して作成することを表示しています。
これを踏まえて、報告作成～提出に利用して下さい。

記載例	事 項	内 容
1	利子補給契約	利子補給契約締結申込書、契約書、委託機関進達文書
2	貸付実行(基本型)	貸付実行表、 <u>上乗せ利子補給率内訳表</u> 、返済計画表、 <u>融資機関・委託金融機関貸付実行報告書</u>
3	貸付実行(2件)	貸付実行表、返済計画表、(実行報告書等：記載例2参照)
4	貸付実行(対象外貸付有)	貸付実行状況等異動表、証書貸付金 取引履歴照会、 <u>返済計画表、融資機関・委託金融機関貸付実行状況等異動報告書</u>
5	貸付実行修正	貸付実行表、上乗せ利子補給率内訳表、返済計画表、融資機関・委託金融機関貸付実行報告書(修正報告)

記載例	事 項	内 容
6	異動報告(内入・早期償還)	異動表、取引履歴照会、(返済計画表、融資機関・委託金融機関報告：記載例4参照)
7	異動報告(一部繰上償還)	異動表、取引履歴照会、返済計画表、(融資機関・委託金融機関報告：記載例4参照)
8	異動報告(全額繰上償還)	異動表、取引履歴照会、(融資機関・委託金融機関報告：記載例4参照)
9	異動報告(期限利益喪失)	異動表、取引履歴照会、(融資機関・委託金融機関報告：記載例4参照)
10	異動報告(経営中止[酪農])	報告書、異動表、取引履歴照会、(融資機関・委託金融機関報告：記載例4参照)
11	異動報告(経営中止[肉用牛])	報告書、異動表、取引履歴照会、(融資機関・委託金融機関報告：記載例4参照)
12	異動報告(経営中止[肉用牛、報告遅延])	異動表、利子補給金返還遅延報告参考例、(融資機関・委託金融機関報告：記載例4〔当会あて報告〕、11〔経営中止報告〕参照)
13	異動報告(計画承認取消)	報告書、異動表、取引履歴照会(略)、(融資機関・委託金融機関報告：記載例4参照)
14	異動報告(融資機関合併)	合併に伴う利子補給契約の承継通知、委託機関進達文書
15	異動報告(貸付対象者氏名変更)	貸付対象者氏名変更報告、貸付対象者氏名変更入力票、(融資機関・委託金融機関報告：記載例4参照)
—	利子補給請求関係	記載例16～19の請求額等の基礎
16	利子補給金請求書(期限：1月末)	融資機関請求書、事務チェック表、償還状況報告書、委託金融機関請求書
17	利子補給金請求書(期限：2月末)	融資機関請求書、償還状況報告書、委託金融機関請求書、(事務チェック表：記載例16参照)
18	事業実績報告	事業実績報告書、事業実績報告書(貸付実績報告書)、事業実績報告書(利子補給金実績報告書)

【記載例 1～2・4の融資機関、借入者、畜特資金の概要】

融資機関	住 所	中央県千代田市外神田 2 丁目 3 番 4 号			
	名 称	外神田農業協同組合			
借入者	住 所	中央県千代田市外神田 1 丁目 2 番 3 号			
	氏 名	畜産太郎			
	畜 種	酪農			
	規 模	乳牛 60 頭、うち経産牛 40 頭			
畜特資金	貸付実行日	約定償還日	貸付実行額	借入残高	償還（うち据置）
大家畜特別支援	27.11.30	11.29	25,000 千円	24,010 千円	23（3）
委託金融機関	住 所	中央県千代田市外神田 5 丁目 6 番 7 号			
	名 称	中央県信用農業協同組合連合会			

※1 外神田農業協同組合は、大家畜特別支援資金を平成 27 年度に初めて貸付を行う。

※2 貸付区分は「特認」である。

※3 貸付実行額と借入残高の差、990 千円は対象外貸付、計算期間は「12 月型」である。

【記載例 3の融資機関、借入者、畜特資金の概要】

融資機関	住 所	中央県千代田市外神田 2 丁目 3 番 4 号			
	名 称	外神田農業協同組合			
借入者	住 所	中央県千代田市外神田 1 丁目 2 番 3 号			
	氏 名	畜産太郎			
	畜 種	酪農			
	規 模	乳牛 60 頭、うち経産牛 40 頭			
畜特資金	貸付実行日	約定償還日	貸付実行額	借入残高	償還（うち据置）
大家畜特別支援	27.11.30	11.29	15,000 千円	15,000 千円	23（3）
		11.29	10,000 千円	10,000 千円	23（3）
委託金融機関	住 所	中央県千代田市外神田 5 丁目 6 番 7 号			
	名 称	中央県信用農業協同組合連合会			

※1 貸付区分は「特認」である。

※2 計算期間は「12 月型」である。

【記載例 1】 利子補給契約締結申請

別紙様式第 1 号

中畜が記入

中畜整理番号 —

畜産特別資金利子補給契約締結申込書

(大家畜特別支援資金)

大家畜特別、養豚特別、改善緊急のうち
該当するものを表示

番 号 27JA農発第111号

年月日 平成27年10月10日

公益社団法人 中央畜産会

会 長 小 里 貞 利 殿

〔 信用農業協同組合連合会代表理事理事長 殿 〕

(独立行政法人農畜産業振興機構理事長が適当と認めた団体にあつては当該団体の長)

所 在 地 中央県千代田市外神田2丁目3番4号

融資機関名 外神田農業協同組合

代表者氏名 代表理事組合長 玄 田 立 生 ㊞

電 話 012-345-6789 (内線) 1011

このたび、畜産特別資金融通事業実施要領（以下「実施要領」という。）を承諾し、大家畜特別支援資金の融資を行いたいので、実施要領第1の3の（1）の規定に基づき、別添の「畜産特別資金利子補給契約書」により、利子補給契約を締結いたしたく 申します。

大家畜特別、養豚特別、改善緊急
のうち該当するものを表示

【記載例 1】 利子補給契約締結申請

別紙様式第 2 号

中畜が記入

中畜整理番号

畜産特別資金利子補給契約書
(大家畜特別 支援資金)

大家畜特別、養豚特別、改善緊急のうち
該当するものを表示

公益社団法人中央畜産会会長小里貞利（以下「甲」という。）は、畜産特別資金
融通事業実施要領を承諾した外神田農業協同組合代表理事組合長玄田立生（以下
「乙」という。）が中央県知事の承認を受けて、大家畜特別 支援資金を融資した場
合に、当該融資額について利子補給金を交付することについて乙と契約する。

知事が承認する場合、
() 書きは削除

大家畜特別、養豚特別、改善緊急
のうち該当するものを表示

平成 年 月 日

中畜が記入

甲 所在地 東京都千代田区外神田 2 丁目 1 6 番 2 号
名称 公益社団法人 中央畜産会
代表者氏名 会長 小里 貞利 印

乙 所在地 中央県千代田市外神田 2 丁目 3 番 4 号
名称 外神田農業協同組合
代表者氏名 代表理事組合長 玄田立生 印

(注) 乙は、本契約書 2 部を作成し、記名押印のうえ甲に提出するものとする。

【記載例 1】利子補給契約締結申請

委託機関の進達参考

27 中信連特融第 80 号
平成 27 年 10 月 15 日

公益社団法人 中央畜産会会長 殿

中央県信用農業協同組合連合会
代表理事理事長 中社 益人 ㊞

畜産特別資金に係る利子補給契約締結申込書及び契約書について

このことにつきまして、下記融資機関から別添のとおり申し込みがありましたので進達いたします。

記

〔大家畜特別支援資金〕

融資機関名	利子補給契約締結申込書	利子補給契約書
外神田農業協同組合	1 部	2 部
	部	部

〔養豚特別支援資金〕

融資機関名	利子補給契約締結申込書	利子補給契約書
	部	部
	部	部

〔緊急改善支援資金（大家畜）〕

融資機関名	利子補給契約締結申込書	利子補給契約書
	部	部
	部	部

（注）上記のうち該当しない資金については省略できます。

【記載例 2】貸付実行（基本型）

別紙様式第 3 号〔提出部数 3 部（県、信農連等、中畜用）別表も同じ。〕

畜産特別資金貸付実行状況報告書 (大家畜特別支援資金)

(平成 27 年度第 2 次貸付分)

(応答日型)
12月型

(該当のものに○印のこと。)

大家畜特別、養豚特別、
改善緊急のうち該当す
るものを表示

番 号 27JA農発第120号
年月日 平成27年12月5日

公益社団法人 中央畜産会

会 長 小 里 貞 利 殿

〔信用農業協同組合連合会代表理事理事長 殿〕

(独立行政法人農畜産業振興機構理事長が適当と認めた団体にあつては当該団体の長)

所 在 地 中央県千代田市外神田 2 丁目 3 番 4 号

融 資 機 関 名 外神田農業協同組合

代 表 者 氏 名 代表理事組合長 玄 田 立 生 ④

畜産特別資金融通事業実施要領第 1 の 3 の (2) の規定に基づき、畜産特別資金の貸付状況を下記のとおり報告します。

〔貸実行報告書作成時の確認項目〕

- ・ 手引きの 2 の (2) に沿って、内容を確認すること
- ・ 中央畜産会に提出するものが全て揃ったかを確認すること

【記載例2】貸付実行(基本型)
 入力-2(生産者団体等の上乗せ利子補給率内訳表)
 ・利子補給率:都道府県(0.1%)、市町村(0.02%)、融資機関(0.12%)
 [記載例としての例示です。]

様式第3号の別表2-1

改善緊急支援資金については別表2-2を使用してください。

入力-2

生産者団体等の上乗せ利子補給率内訳表

資金 12:大家畜特別支援(新)資金

キーコード部

データ区分	ブロック	都道府県	北海道 振興局	融資機関		利子補給金 計算期間	貸付実行年月日
				コード	名称		
12	3:関東	13:中央県		5002	外神田農業協同組合	1:12月型	2015/11/30

データ部

処理区分	経営改善・一般貸付														
	都道府県	市町村	県連	融資機関	その他	計	県連内訳								
							信連	経済連	共済連	畜連	開拓連	酪その他			
	%	%	%	%	%	%									

経営改善・特認貸付											
都道府県	市町村	県連	融資機関	その他	計	県連内訳					
%	%	%	%	%	%	信連	経済連	共済連	畜連	開拓連	酪その他
0.100	0.020		0.120		0.240						

経営継承貸付											
都道府県	市町村	県連	融資機関	その他	計	県連内訳					
%	%	%	%	%	%	信連	経済連	共済連	畜連	開拓連	酪その他

- 注) 1. 本表は、入力-1表の貸付金利欄の生産者団体等利子補給率の内訳をデータ部に記入するもので、小数点以下3位まで記入する。利子補給率に幅がある場合は、上段に最低利子補給率、下段に最高利子補給率を記入する。
 2. 県連の上乗せ利子補給がある場合は、「県連内訳」欄の該当する団体に「1」を記入すること。
 3. その他による上乗せ利子補給がある場合、その他の()内にその名称を記入すること。
 4. 処理区分には、追加:1、修正:2、削除:3の区分を記入すること。(当初貸付時記入不要)

【記載例2】貸付実行(基本型)

返済計画表

郵便番号XXX-XXXX
中央県千代田市外神田1丁目2番3号

畜産 太郎 様

(XXXXXXXXXX)

外神田農業協同組合
本店
郵便番号XXX-XXXX
中央県千代田市外神田2丁目3番4号

電話 XX-XXXX-XXXX

返済計画表の送付について

毎度当店をご利用いただきありがとうございます。
下記の償還日におけるご返済内容は本状のとおりとなっておりますので、
ご案内申し上げます。なお、返済額計と保証料の合計額をお支払ください。

返済計画表

1ページ

(ご案内期間 28年 11月 29日～ 50年 11月 29日) 作成日 平成 27年 12月 5日

お客様番号	ご融資番号	資金名	貸出日	保証	担保	連帯債務	連帯保証	利子補給	留保金
0001111111	XXXXXXXXXX	大家畜特別支援	27-11-30	有	有		有		
ご融資金額		うち賞与融資金額	ご融資期限	約定利率		損害金利率		変更予定利率	
25,000,000		0	50-11-29	1.20000		14.00000			
ご融資残高		うち賞与融資残高	利息返済	利率見直		振替店舗		振替口座番号	
25,000,000		0	利息後取			5002-000		普通XXXXXXXXXX	
変更日	作成理由	条件変更適用日							

回数	償還日	返済元金	返済利息	返済金額合計	返済後残高	保証料
1	28-11-29	0	300,000	300,000	25,000,000	0
2	29-11-29	0	300,000	300,000	25,000,000	0
3	30-11-29	0	300,000	300,000	25,000,000	0
4	31-11-29	1,250,000	300,000	1,550,000	23,750,000	0
5	32-11-29	1,250,000	285,000	1,535,000	22,500,000	0
6	33-11-29	1,250,000	270,000	1,520,000	21,250,000	0
7	34-11-29	1,250,000	255,000	1,505,000	20,000,000	0
8	35-11-29	1,250,000	240,000	1,490,000	18,750,000	0
9	36-11-29	1,250,000	225,000	1,475,000	17,500,000	0
10	37-11-29	1,250,000	210,000	1,460,000	16,250,000	0
11	38-11-29	1,250,000	195,000	1,445,000	15,000,000	0
12	39-11-29	1,250,000	180,000	1,430,000	13,750,000	0
13	40-11-29	1,250,000	165,000	1,415,000	12,500,000	0
14	41-11-29	1,250,000	150,000	1,400,000	11,250,000	0
15	42-11-29	1,250,000	135,000	1,385,000	10,000,000	0
16	43-11-29	1,250,000	120,000	1,370,000	8,750,000	0
17	44-11-29	1,250,000	105,000	1,355,000	7,500,000	0
18	45-11-29	1,250,000	90,000	1,340,000	6,250,000	0
19	46-11-29	1,250,000	75,000	1,325,000	5,000,000	0
20	47-11-29	1,250,000	60,000	1,310,000	3,750,000	0
21	48-11-29	1,250,000	45,000	1,295,000	2,500,000	0
22	49-11-29	1,250,000	30,000	1,280,000	1,250,000	0
23	50-11-29	1,250,000	15,000	1,265,000	0	0
合計		25,000,000	4,050,000	29,050,000		0

00000 0521102910600
ZJS-04055 5002-000-000001

2601205

【記載例2】貸付実行(基本型)

記

(大家畜分)

1 貸付実行額 (貸付対象者別貸付実行表は別表1 () のとおり。)

区 分			都道府県知事の 貸付承認額 A 千円	貸付実行額 B 千円	貸付実行率 B/A %	貸付対象者数 人	
経 営 改 善 資 金	一 般	酪 農	約 定				
			残 高				
			計				
		肉用牛	約 定				
			残 高				
			計				
	計	約 定					
		残 高					
		計					
	特 認	酪 農	約 定	25,000	25,000	100	1
			残 高				
			計	25,000	25,000	100	1
肉用牛		約 定					
		残 高					
		計					
計	約 定	25,000	25,000	100	1		
	残 高						
	計	25,000	25,000	100	1		
合 計	酪 農	約 定	25,000	25,000	100	1	
		残 高					
		計	25,000	25,000	100	1	
	肉用牛	約 定					
		残 高					
		計					
計	約 定	25,000	25,000	100	1		
	残 高						
	計	25,000	25,000	100	1		
経 営 継 承 資 金	酪 農 肉 用 牛 計	約 定					
		残 高					
		計					
総 計	酪 農 肉 用 牛 計	約 定	25,000	25,000	100	1	
		残 高					
		計	25,000	25,000	100	1	

(注) 約定欄にはローリングによる貸付額を、残高欄には残高借換による貸付額を記入すること。

2 貸付実行年月日 平成27年11月30日

3 貸付実行金利(年利) (生産者団体等利子補給率内訳表は別表2 () のとおり。)

区 分	貸付対象者 負担利率 %	中央畜産会 利子補給率 %	生産者団体等 利子補給率 %	金利合計 %
経 営 改 善 資 金	一 般	~	~	~
	特 認	1.2	1.01	2.45
経 営 継 承 資 金		~	~	~

(注) 各欄の利率は、最低と最高を記入すること。

例は貸付金利は最高と最低がなく固定の場合を記載

記

(養豚分)

1 貸付実行額（貸付対象者別貸付実行表は別表1（ ）のとおり。）

区 分		都道府県知事の 貸付承認額 A 千円	貸付実行額 B 千円	貸付実行率 B/A %	貸付対象者数 人	
改善 資金	一 般	約 定				
		残 高				
		計	0	0	0	0
	特 認	約 定				
		残 高				
		計	0	0	0	0
	計	約 定	0	0	0	0
		残 高	0	0	0	0
		計	0	0	0	0
経 承 資 金						
計		0	0	0	0	

(注) 約定欄にはローリングによる貸付額を、残高欄には残高借換による貸付額を記入すること。

2 貸付実行年月日 平成 年 月 日

3 貸付実行金利（年利）（生産者団体等利子補給率内訳表は別表2（ ）のとおり。）

区 分	貸付対象者 負担利率 %	中央畜産会 利子補給率 %	生産者団体等 利子補給率 %	金利合計 %
経営改善資金	一 般	～	～	～
	特 認	～	～	～
経営継承資金	～	～	～	～

(注) 各欄の利率は、最低と最高を記入すること。

【記載例 2】貸付実行（基本型）

別紙様式第 14 号〔提出部数 2 部（県、中畜用）〕

畜産特別資金貸付実行報告書の送付について
(大家畜特別支援資金)

(平成 27 年度第 2 次貸付分)

(応答日型)
12月型

番 号 27 中信連特融第 150 号

年月日 平成 27 年 12 月 10 日

公益社団法人 中央畜産会会長 殿

所在地 中央県千代田市外神田 5 丁目 6 番 7 号
委託機関名 中央県信用農業協同組合連合会
代表者氏名 代表理事理事長 中 社 益 人
電 話 999-9999-9999 (内線) 9999
担当者所属 融資部 氏名 ○○ ○○

別添のとおり、外神田農業協同組合より畜産特別資金貸付実行状況報告書の提出がありましたが、その内容が適正と認められるので、畜産特別資金融通事業実施要領第 1 の 8 の (4) の規定に基づき、送付します。

添付書類

各融資機関からの別紙様式第 3 号の畜産特別資金貸付実行状況報告書
(別表 1、2 を含む。)

〔貸付実行報告書作成時のチェック〕

- ・ 手引きの 2 の (2) の〔委託金融機関〕に沿って、内容を確認すること

【記載例2】 貸付実行(基本型)

表構成の制約から、酪農のみとし、
経営改善一般は表示を略しています。

様式第14号別表

貸付実行状況一覧表

(単位:人、千円)

融資機関名	区分	貸付 実行日	貸付 実行額 (対象者数)	経営改善特認			一般・特認計			経営継承
				約定	残高	計	約定	残高	計	
外神田農協	対象者数	27.11.30	1	1		1	1		1	
	金額		25,000	25,000		25,000	25,000		25,000	
	対象者数									
	金額									
	対象者数									
	金額									
	対象者数									
	金額									
	対象者数									
	金額									
計	対象者数		1	1		1	1		1	
	金額		25,000	25,000		25,000	25,000		25,000	

改善緊急支援資金の場合はこの欄まで記載。
右の内訳は未記入としてください。

【記載例3】貸付実行(2件の場合)
 貸付対象者、貸付額、利率、償還期間、既往借入の内用は記載例2と同じ
 記載例3は貸付額25,000千円が2件の場合
 (入力1) 貸付対象者別貸付実行表、返済計画表、(入力2) ⇔【記載例2】と同じにつき略

様式第3号の別表1-1

貸付対象者別貸付実行表 (平成27年度貸付分)

入力-1 資金 12:大家畜特別支援(新)資金

キーコード部

データ区分	ブロック	100	北海道振興局	融資機関		利子補給金計算期間	貸付実行年月日	約定償還日
				コード	名称			
11	3:関東	13:中央県		5002	外神田農業協同組合	1:12月型	2015/11/30	11/29

枚のうち
枚目

貸付金利、利子補給率は作成時のものであることに留意してください。

データ部

処理区分	貸付対象者コード	貸付対象者氏名	経営の種別	現地確認頭数	貸付区分	都道府県知事等の貸付承認額 千円	貸付実行額 千円	貸付金利					計 %	償還期間を据置む期間 年	据置期間 年	他の畜産特別資金の借入							貸付実行額のうち残高借換額 千円	備考		
								貸付対象者負担利率 %	中央畜産会利子補給率 %	生産者団体等利子補給率						計 %	大畜 畜化	養豚 豚化	大改 畜善	改善 豚善	維持 持急	大特 畜別			養特 豚別	
										経営改善 一般	経営改善 特	経営継承 認														
	0001111111	畜産 太郎	10	60	2	15,000	15,000	1.200	1.010		0.240		2.450	23	3	1										
	1001111111	畜産 太郎	10	60	2	10,000	10,000	1.200	1.010		0.240		2.450	23	3											
		複数件数の場合、貸付対象者コードの昇順に記載してください。						行数省略																		
小計	1人					25,000	25,000	1.200 ~	1.010 ~		0.240 ~		2.450 ~													
合計	1人					25,000	25,000	1.200 ~	1.010 ~		0.240 ~		2.450 ~													

当初貸付時記入不要
 ○追加:1
 ○修正:2
 ○削除:3

注)1. 融資機関コードは、都道府県が定め中央畜産会に登録済みのコードを記入すること。
 2. 貸付対象コードは、最大10桁とし同一貸付実行日に複数貸付が存在する場合のみ頭1桁に1から連番を入力すること。なお、次年度以降の借入れについても、同一コードを使用すること。
 3. 貸付対象者氏名は、漢字等で8文字以内に記入すること。
 4. 貸付金利は小数点以下3位までに記入すること。
 5. 他の畜産特別資金の借入欄の「大家畜活性化」は大家畜経営活性化資金、「養豚活性化」は養豚経営活性化資金、「大家畜改善」は大家畜経営改善支援資金、「養豚改善」は養豚経営改善支援資金、「維持緊急」は畜産経営維持緊急支援資金、「大家畜特別」は大家畜特別支援資金、「養豚特別」は養豚特別支援資金の略
 6. 本表が2枚以上になるときは、各表ごとにキーコード部を必ず記入するとともに、小計をいれ最後の表には合計をいれること。

【記載例3】貸付実行(2件の場合)
返済計画表(10,000千円口)

郵便番号XX-XXXX
中央県千代田市外神田1丁目2番3号

畜産 太郎 様

(XXXXXXXXXX)

外神田農業協同組合
本店
郵便番号XX-XXXX
中央県千代田市外神田2丁目3番4号
電話 XX-XXXX-XXXX

返済計画表の送付について

毎度当店をご利用いただきありがとうございます。
下記の償還日におけるご返済内容は本状のとおりとなっておりますので、
ご案内申し上げます。なお、返済額計と保証料の合計額をお支払ください。

返済計画表

1ページ

(ご案内期間 28年 11月 29日～ 50年 11月 29日) 作成日 平成 27年 12月 5日

お客様番号	ご融資番号	資金名	貸出日	保証	担保	連帯債務	連帯保証	利子補給	留保金
1001111111	XXXXXXXX	大家畜特別支援	27-11-30	有	有		有		
ご融資金額		うち賞与融資金額	ご融資期限	約定利率		損害金利率		変更予定利率	
10,000,000		0	50-11-29	1.20000		14.00000			
ご融資残高		うち賞与融資残高	利息返済	利率見直		振替店舗		振替口座番号	
10,000,000		0	利息後取			5002-000		普通XXXXXXXXXX	
変更日	作成理由		条件変更適用日						

回数	償還日	返済元金	返済利息	返済金額合計	返済後残高	保証料
1	28-11-29	0	120:000	120:000	10:000:000	0
2	29-11-29	0	120:000	120:000	10:000:000	0
3	30-11-29	0	120:000	120:000	10:000:000	0
4	31-11-29	500:000	120:000	620:000	9:500:000	0
5	32-11-29	500:000	114:000	614:000	9:000:000	0
6	33-11-29	500:000	108:000	608:000	8:500:000	0
7	34-11-29	500:000	102:000	602:000	8:000:000	0
8	35-11-29	500:000	96:000	596:000	7:500:000	0
9	36-11-29	500:000	90:000	590:000	7:000:000	0
10	37-11-29	500:000	84:000	584:000	6:500:000	0
11	38-11-29	500:000	78:000	578:000	6:000:000	0
12	39-11-29	500:000	72:000	572:000	5:500:000	0
13	40-11-29	500:000	66:000	566:000	5:000:000	0
14	41-11-29	500:000	60:000	560:000	4:500:000	0
15	42-11-29	500:000	54:000	554:000	4:000:000	0
16	43-11-29	500:000	48:000	548:000	3:500:000	0
17	44-11-29	500:000	42:000	542:000	3:000:000	0
18	45-11-29	500:000	36:000	536:000	2:500:000	0
19	46-11-29	500:000	30:000	530:000	2:000:000	0
20	47-11-29	500:000	24:000	524:000	1:500:000	0
21	48-11-29	500:000	18:000	518:000	1:000:000	0
22	49-11-29	500:000	12:000	512:000	500:000	0
23	50-11-29	500:000	6:000	506:000	0	0
合計		10:000:000	1:620:000	11:620:000		0

00000 0521102910600
ZJS-04055 5002-000-000001 2701205

【記載例3】貸付実行(2件の場合)
返済計画表(15,000千円口)

郵便番号XX-XXXX
中央県千代田市外神田1丁目2番3号

(XXXXXXXXXX)

外神田農業協同組合
本店
郵便番号XX-XXXX
中央県千代田市外神田2丁目3番4号
電話 XX-XXXX-XXXX

返済計画表の送付について

毎度当店をご利用いただきありがとうございます。
下記の償還日におけるご返済内容は本状のとおりとなっておりますので、
ご案内申し上げます。なお、返済額計と保証料の合計額をお支払ください。

返済計画表

1ページ

(ご案内期間 28年 11月 29日～ 50年 11月 29日) 作成日 平成 27年 12月 5日

お客様番号	ご融資番号	資金名	貸出日	保証	担保	連帯債務	連帯保証	利子補給	留保金
2001111111	XXXXXXXX	大家畜特別支援	27-11-30	有	有		有		
ご融資金額	うち賞与融資金額	ご融資期限	約定利率	損害金利率	変更予定利率				
15,000,000	0	50-11-29	1.20000	14.00000					
ご融資残高	うち賞与融資残高	利息返済	利率見直	振替店舗	振替口座番号				
15,000,000	0	利息後取		5002-000	普通XXXXXXXXXX				
変更日	作成理由	条件変更適用日							

回数	償還日	返済元金	返済利息	返済金額合計	返済後残高	保証料
1	28-11-29	0	180,000	180,000	15,000,000	0
2	29-11-29	0	180,000	180,000	15,000,000	0
3	30-11-29	0	180,000	180,000	15,000,000	0
4	31-11-29	750,000	180,000	930,000	14,250,000	0
5	32-11-29	750,000	171,000	921,000	13,500,000	0
6	33-11-29	750,000	162,000	912,000	12,750,000	0
7	34-11-29	750,000	153,000	903,000	12,000,000	0
8	35-11-29	750,000	144,000	894,000	11,250,000	0
9	36-11-29	750,000	135,000	885,000	10,500,000	0
10	37-11-29	750,000	126,000	876,000	9,750,000	0
11	38-11-29	750,000	117,000	867,000	9,000,000	0
12	39-11-29	750,000	108,000	858,000	8,250,000	0
13	40-11-29	750,000	99,000	849,000	7,500,000	0
14	41-11-29	750,000	90,000	840,000	6,750,000	0
15	42-11-29	750,000	81,000	831,000	6,000,000	0
16	43-11-29	750,000	72,000	822,000	5,250,000	0
17	44-11-29	750,000	63,000	813,000	4,500,000	0
18	45-11-29	750,000	54,000	804,000	3,750,000	0
19	46-11-29	750,000	45,000	795,000	3,000,000	0
20	47-11-29	750,000	36,000	786,000	2,250,000	0
21	48-11-29	750,000	27,000	777,000	1,500,000	0
22	49-11-29	750,000	18,000	768,000	750,000	0
23	50-11-29	750,000	9,000	759,000	0	0
合計		15,000,000	2,430,000	17,430,000		0

00000 0521102910600
ZJS-04055 5002-000-000001 2701205

【記載例4】 貸付実行(対象外貸付が生じた場合)

5002-001 証書貸付金 取引履歴照会 27年 11月30日13時24分

顧客番号	0001111111	顧客名	畜産 太郎
残高管理店舗	指定期日 1	指定期日 2	勘定取引出力区分
5002-001	27-11-30		勘定発生取引明細のみ出力
貸付番号	保証番号	勘定科目	貸付実行日 最終期限
XXXXXXXXX	<XXXXXXXXX	00920	27-11-30 50-11-29
	貸付金額	貸付残高	約定利率 約定残高
	25,000,000	24,010,000	1.200 24,010,000

取引日	取引名	摘要	金額	起算日	約定日
27-11-30	繰上回収	34 03			
	償還元金		990,000		
	徴収利息		32		
	取引後残高		24,010,000		

【記載例4】貸付実行(対象外貸付が生じた場合)
返済計画表

郵便番号XX-XXXX
中央県千代田市外神田1丁目2番3号

畜産 太郎 様

○一部繰上後残高/残存償還回数=毎回償還額
24,010千円/20回=1,200.5千円→1,200千円
○一部繰上後残高の初回償還額
[均等償還額+端数]=1,200千円+10千円=1,210千円
[端数=24,010千円-(1,200千円×20回)=10千円]

外神田農業協同組合
本店
郵便番号XX-XXXX
中央県千代田市外神田2丁目16番2号
電話 XX-XXXX-XXXX

返済計画表の送付について

毎度当店をご利用いただきありがとうございます。
下記の償還日におけるご返済内容は本状のとおりとなっておりますので、
ご案内申し上げます。なお、返済額計と保証料の合計額をお支払ください。

返済計画表

1ページ

(ご案内期間 28年 11月 29日～ 50年 11月 29日) 作成日 平成 27年 12月 5日

お客様番号	ご融資番号	資金名	貸出日	保証	担保	連帯債務	連帯保証	利子補給	留保金
0001111111	XXXXXXXX	大家畜特別支援	27-11-30	有	有		有		
ご融資金額		うち賞与融資金額	ご融資期限	約定利率		損害金利率		変更予定利率	
25,000,000		0	50-11-29	1.20000		14.00000			
ご融資残高		うち賞与融資残高	利息返済	利率見直		振替店舗		振替口座番号	
24,010,000		0	利息後取			5002-000		普通XXXXXXXXXX	
変更日	作成理由	条件変更適用日							
		26-11-30							

回数	償還日	返済元金	返済利息	返済金額合計	返済後残高	保証料
1	28-11-29	0	288 120	288 120	24 010 000	0
2	29-11-29	0	288 120	288 120	24 010 000	0
3	30-11-29	0	288 120	288 120	24 010 000	0
4	31-11-29	1 210 000	288 120	1 498 120	22 800 000	0
5	32-11-29	1 200 000	273 600	1 473 600	21 600 000	0
6	33-11-29	1 200 000	259 200	1 459 200	20 400 000	0
7	34-11-29	1 200 000	244 800	1 444 800	19 200 000	0
8	35-11-29	1 200 000	230 400	1 430 400	18 000 000	0
9	36-11-29	1 200 000	216 000	1 416 000	16 800 000	0
10	37-11-29	1 200 000	201 600	1 401 600	15 600 000	0
11	38-11-29	1 200 000	187 200	1 387 200	14 400 000	0
12	39-11-29	1 200 000	172 800	1 372 800	13 200 000	0
13	40-11-29	1 200 000	158 400	1 358 400	12 000 000	0
14	41-11-29	1 200 000	144 000	1 344 000	10 800 000	0
15	42-11-29	1 200 000	129 600	1 329 600	9 600 000	0
16	43-11-29	1 200 000	115 200	1 315 200	8 400 000	0
17	44-11-29	1 200 000	100 800	1 300 800	7 200 000	0
18	45-11-29	1 200 000	86 400	1 286 400	6 000 000	0
19	46-11-29	1 200 000	72 000	1 272 000	4 800 000	0
20	47-11-29	1 200 000	57 600	1 257 600	3 600 000	0
21	48-11-29	1 200 000	43 200	1 243 200	2 400 000	0
22	49-11-29	1 200 000	28 800	1 228 800	1 200 000	0
23	50-11-29	1 200 000	14 400	1 214 400	0	0
合計		24 010 000	3 888 480	27 898 480		0

00000 0521102910600 2601205
ZJS-04055 5002-000-000001

【記載例 4】貸付実行（対象外貸付が生じた場合）

別紙様式第 7 号〔提出部数 3 部（県、信農連等、中畜用）別表も同じ。〕

畜産特別資金（**大家畜特別支援資金**）貸付実行状況等異動報告書

番 号 **27JA農発第121号**

年月日 **平成27年12月5日**

公益社団法人 中央畜産会

会 長 **小里貞利** 殿

〔 信用農業協同組合連合会代表理事理事長 殿 〕

（独立行政法人農畜産業振興機構理事長が適当と認めた団体にあつては当該団体の長）

所 在 地 **中央県千代田区外神田2丁目3番4号**

融 資 機 関 名 **外神田農業協同組合**

代 表 者 氏 名 **代表理事組合長 玄田立生** ⑩

畜産特別資金融通事業実施要領第 1 の 6 の（1）の ア の規定に基づき、別添のとおり報告します。

【記載例 4】貸付実行（対象外貸付が生じた場合）

信農連等の進達参考

27〇信連特融第151号
平成27年12月10日

公益社団法人 中央畜産会 会長 殿

中央県信用農業協同組合連合会
代表理事理事長 中社益人 ㊞

畜産特別資金に係る貸付実行状況等異動報告書の進達について

このことにつきまして、下記融資機関から畜産特別資金融通事業実施要領第1の6の(1)のアに基づき提出されましたので、下記のとおり進達します。

記

1 融資機関

外神田農業協同組合

2 報告の貸付対象者及び提出書類

(1) 貸付対象者

畜産 太郎

(2) 提出書類

ア 畜産特別資金（大家畜特別支援資金）貸付実行状況等異動報告書

イ 大家畜特別支援資金貸付実行状況等異動表

ウ 証書貸付金 取引履歴照会

エ 一部繰上償還後の返済計画表

(注) 複数件を報告する場合は表形式にするなど、編集して下さい。

【記載例 5 の融資機関等、借入者、畜特資金の概要】

融資機関	住 所	中央県千代田市外神田 2 丁目 3 番 4 号			
	名 称	外神田農業協同組合			
借入者	住 所	中央県千代田市外神田 1 丁目 2 番 3 号			
	氏 名	畜産太郎			
	畜 種	酪農			
	規 模	乳牛 6 0 頭、うち経産牛 4 0 頭			
畜特資金	貸付実行日	約定償還日	貸付実行額	借入残高	償還（うち据置）
大家畜特別支援	24. 11. 30	11. 29	10, 000 千円	10, 000 千円	13 (3)
委託金融機関	住 所	中央県千代田市外神田 5 丁目 6 番 7 号			
	名 称	中央県信用農業協同組合連合会			

※

【記載例 5】貸付実行修正

別紙様式第 3 号〔提出部数 3 部（県、信農連等、中畜用）別表も同じ。〕

畜産特別資金貸付実行状況報告書（修正報告）
（大家畜特別支援資金）

（平成 24 年度第 2 次貸付分）

（応答日型）
（12 月型）

（該当のものに○印のこと。）

大家畜特別、養豚特別、
改善緊急のうち、該当す
るものを表示。

番 号 27JA農発第90号

年月日 平成27年10月5日

公益社団法人 中央畜産会

会 長 小 里 貞 利 殿

〔 信用農業協同組合連合会代表理事理事長 殿 〕
（独立行政法人農畜産業振興機構理事長が適当と認めた団体にあつては当該団体の長）

所 在 地 中央県千代田市外神田 2 丁目 3 番 4 号

融資機関名 外神田農業協同組合

代表者氏名 代表理事組合長 玄田 立生 ⑩

畜産特別資金融通事業実施要領第 1 の 3 の（2）の規定に基づき、畜産特別資金の貸付状況を下記のとおり報告します。

なお、修正内容は、貸付区分を「特認」から「一般」にするものです。

（注）下記については、記載例 1 - 1 を参考に作成して下さい。

【記載例5】貸付実行修正
 入力-2(生産者団体等の上乗せ利子補給率内訳表)
 ・利子補給率:都道府県(0.1%)、市町村(0.02%)、融資機関(0.12%)
 修正報告にあつては、処理区分に「2」と記載。

様式第3号の別表2-1 **改善緊急支援資金については別表2-2を使用してください。**

入力-2

生産者団体等の上乗せ利子補給率内訳表

資金 12:大家畜特別支援(新)資金

キーコード部

データ区分	ブロック	都道府県	北海道 振興局	融資機関		利子補給金 計算期間	貸付実行年月日
				コード	名称		
12	3:関東	13:中央県		5002	外神田農業協同組合	1:12月型	2012/11/30

データ部

処 理 区 分	経 営 改 善 ・ 一 般 貸 付						県 連 内 訳						
	都道府県	市町村	県 連	融資機関	その他 ()	計	信 連	経 済 連	共 済 連	畜 連	開 拓 連	酪 連	そ の 他
2	0.100	0.020		0.120		0.240							

修正「2」を記載

経 営 改 善 ・ 特 認 貸 付												
都道府県	市町村	県 連	融資機関	その他 ()	計	信 連	経 済 連	共 済 連	畜 連	開 拓 連	酪 連	そ の 他
	0.020		0.120		0.240							

経 営 継 承 貸 付												
都道府県	市町村	県 連	融資機関	その他 ()	計	信 連	経 済 連	共 済 連	畜 連	開 拓 連	酪 連	そ の 他

- 注) 1. 本表は、入力-1表の貸付金利欄の生産者団体等利子補給率の内訳をデータ部に記入するもので、小数点以下3位まで記入する。利子補給率に幅がある場合は、上段に最低利子補給率、下段に最高利子補給率を記入する。
 2. 県連の上乗せ利子補給がある場合は、「県連内訳」欄の該当する団体に「1」を記入すること。
 3. その他による上乗せ利子補給がある場合、その他の()内にその名称を記入すること。
 4. 処理区分には、追加:1、修正:2、削除:3の区分を記入すること。(当初貸付時記入不要)

【記載例5】貸付実行修正
返済計画表

郵便番号XX-XXXX
中央県千代田市外神田1丁目2番3号

畜産 太郎 様

(XXXXXXXXXX)

外神田農業協同組合
本店
郵便番号XX-XXXX
中央県千代田市外神田2丁目3番4号
電話 XX-XXXX-XXXX

返済計画表の送付について

毎度当店をご利用いただきありがとうございます。
下記の償還日におけるご返済内容は本状のとおりとなっておりますので、
ご案内申し上げます。なお、返済額計と保証料の合計額をお支払ください。

返済計画表

1ページ

(ご案内期間 25年 11月 29日～ 37年 11月 29日) 作成日 平成 27年 10月 5日

お客様番号	ご融資番号	資金名	貸出日	保証	担保	連帯債務	連帯保証	利子補給	留保金
0001111111	XXXXXXXX	大家畜特別支援	24-11-30	有	有		有		
ご融資金額		うち賞与融資金額	ご融資期限	約定利率		損害金利率		変更予定利率	
10,000,000		0	37-11-29	1.30000		14.00000			
ご融資残高		うち賞与融資残高	利息返済	利率見直		振替店舗		振替口座番号	
10,000,000		0	利息後取			5002-000		普通XXXXXXXXXX	
変更日	作成理由	条件変更適用日							
		27-10-5							

回数	償還日	返済元金	返済利息	返済金額合計	返済後残高	保証料
1	25-11-29	0	130:000	130:000	10:000:000	0
2	26-11-29	0	130:000	130:000	10:000:000	0
3	27-11-29	0	130:000	130:000	10:000:000	0
4	28-11-29	1:000:000	130:000	1:130:000	9:000:000	0
5	29-11-29	1:000:000	117:000	1:117:000	8:000:000	0
6	30-11-29	1:000:000	104:000	1:104:000	7:000:000	0
7	31-11-29	1:000:000	91:000	1:091:000	6:000:000	0
8	32-11-29	1:000:000	78:000	1:078:000	5:000:000	0
9	33-11-29	1:000:000	65:000	1:065:000	4:000:000	0
10	34-11-29	1:000:000	52:000	1:052:000	3:000:000	0
11	35-11-29	1:000:000	39:000	1:039:000	2:000:000	0
12	36-11-29	1:000:000	26:000	1:026:000	1:000:000	0
13	37-11-29	1:000:000	13:000	1:013:000	0	0
合計		10:000:000	1:105:000	11:105:000		0

00000 0521102910600
ZJS-04055 5002-000-000001 2701005

【記載例5】貸付実行修正

別紙様式第14号〔提出部数2部（県、中畜用）〕

畜産特別資金貸付実行報告書（修正報告）の送付について
（大家畜特別支援資金）

大家畜特別、養豚特別
改善緊急のうち、該当
するものを表示。

（平成24年度第2次貸付分）

（応答日型）
（12月型）

番 号 2700信連特融第70号

年月日 平成27年10月10日

公益社団法人 中央畜産会会長 殿

所 在 地 中央県千代田市外神田5丁目6番7号

委託機関名 中央県信用農業協同組合連合会

代表者氏名 代表理事理事長 中 社 益 人 ㊟

電 話 市外局番 局番 番号 内線

012-(34)-3678(910)

担当者所属 氏名 ○ ○ ○ ○

別添のとおり、外神田農業協同組合より畜産特別資金貸付実行状況報告書の提出がありましたが、その内容が適正と認められるので、畜産特別資金融通事業実施要領第1の8の（4）の規定に基づき、送付します。

添付書類

各融資機関からの別紙様式第3号の畜産特別資金貸付実行状況報告書（別表1、2を含む。）

〔修正内容〕

貸付区分の修正（外神田農協、対象件数は1件）

「特認」を「一般」に修正するもの

（注）貸付実行状況等一覧表については、記載例1-1を参考に作成して下さい。

【記載例6】 内入れ・早期償還に伴う異動報告

[内入れ]

5002-001 証書貸付金 取引履歴照会 27年 10月 10日 11時27分

顧客番号	0001111111	顧客名	畜産 太郎
残高管理店舗	指定期日 1	指定期日 2	勘定取引出力区分
5002-001	27-10-10		勘定発生取引明細のみ出力
貸付番号	保証番号	勘定科目	貸付実行日 最終期限
XXXXXXXXX	<XXXXXXXXX	00920	26-11-30 31-11-29
	貸付金額	貸付残高	約定利率 約定残高
	10,000,000	10,000,000	1.300 10,000,000

取引日	取引名	摘要	金額	起算日	約定日
27-10-10	繰上回収	01 03			
	償還元金		2,000,000		
	徴収利息		112,547		
	取引後残高		8,000,000		

[早期償還]

5002-001 証書貸付金 取引履歴照会 27年 10月 10日 11時27分

顧客番号	0001111111	顧客名	畜産 太郎
残高管理店舗	指定期日 1	指定期日 2	勘定取引出力区分
5002-001	27-10-10		勘定発生取引明細のみ出力
貸付番号	保証番号	勘定科目	貸付実行日 最終期限
XXXXXXXXX	<XXXXXXXXX	00920	26-11-30 31-11-29
	貸付金額	貸付残高	約定利率 約定残高
	10,000,000	10,000,000	1.300 10,000,000

取引日	取引名	摘要	金額	起算日	約定日
27-10-10	繰上回収	31 03			
	償還元金		2,000,000		
	徴収利息		112,547		
	取引後残高		8,000,000		
27-10-10	繰上回収	31 03			27.11.29
	償還元金		1,000,000		
	徴収利息		11,254		
	取引後残高		7,000,000		

【記載例7】 一部繰上償還に伴う異動報告

5002-001 証書貸付金 取引履歴照会 27年 10月 10日 11時27分

顧客番号	0001111111	顧客名	畜産 太郎
残高管理店舗	指定期日 1	指定期日 2	勘定取引出力区分
5002-001	27-10-10		勘定発生取引明細のみ出力
貸付番号	保証番号	勘定科目	貸付実行日 最終期限
XXXXXXXXX	<XXXXXXXXX	00920	26-11-30 31-11-29
	貸付金額	貸付残高	約定利率 約定残高
	10,000,000	7,000,000	1.300 7,000,000

取引日	取引名	摘要	金額	起算日	約定日
27-10-10	繰上回収	31 03			
	償還元金		3,000,000		
	徴収利息		33,764		
	取引後残高		7,000,000		

【記載例7】 一部繰上償還に伴う異動報告
返済計画表

郵便番号XX-XXXX
中央県千代田市外神田1丁目2番3号

畜産 太郎 様

(XXXXXXXXXX)

外神田農業協同組合
本店
郵便番号XX-XXXX
中央県千代田市外神田2丁目3番4号
電話 XX-XXXX-XXXX

返済計画表の送付について

毎度当店をご利用いただきありがとうございます。
下記の償還日におけるご返済内容は本状のとおりとなっておりますので、
ご案内申し上げます。なお、返済額計と保証料の合計額をお支払ください。

返済計画表

1ページ

(ご案内期間 27年 11月 29日～ 31年 11月 29日) 作成日 平成 27年 10月 10日

お客様番号	ご融資番号	資金名	貸出日	保証	担保	連帯債務	連帯保証	利子補給	留保金
0001111111	XXXXXXXXXX	大家畜特別支援	26-11-30	有	有		有		
ご融資金額		うち賞与融資金額	ご融資期限	約定利率		損害金利率		変更予定利率	
10,000,000		0	31-11-29	1.30000		14.00000			
ご融資残高		うち賞与融資残高	利息返済	利率見直		振替店舗		振替口座番号	
7,000,000		0	利息後取			5002-000		普通XXXXXXXXXX	
変更日	作成理由	条件変更適用日 26-10-10							

回数	償還日	返済元金	返済利息	返済金額合計	返済後残高	保証料
1	27-11-29	1,400,000	91,000	1,491,000	5,600,000	0
2	28-11-29	1,400,000	72,800	1,472,800	4,200,000	0
3	29-11-29	1,400,000	54,600	1,454,600	2,800,000	0
4	30-11-29	1,400,000	36,400	1,436,400	1,400,000	0
5	31-11-29	1,400,000	18,200	1,418,200	0	0
	合計	7,000,000	273,000	7,273,000		0

00000 0521102910600
ZJS-04055 5002-000-000001 2701010

【記載例8】全額繰上償還に伴う異動報告
返済計画表

5002-001 証書貸付金 取引履歴照会 27年 11月 29日 11時27分

顧客番号	0001111111	顧客名	畜産 太郎
残高管理店舗	指定期日 1	指定期日 2	勘定取引出力区分
5002-001	27-11-29		勘定発生取引明細のみ出力
貸付番号	保証番号	勘定科目	貸付実行日 最終期限
XXXXXXXXX	<XXXXXXXXX	00920	12-11-30 35-11-29
	貸付金額	貸付残高	約定利率 約定残高
	16,377,000	8,180,000	2.100 8,180,000

取引日	取引名	摘要	金額	起算日	約定日
27-11-29	約定回収	01 03			27-11-29
	償還元金		818,000		
	徴収利息		171,780		
	取引後残高		7,362,000		
27-11-29	繰上回収	31 03			
	償還元金		7,362,000		
	徴収利息		423		
	取引後残高		0		

【記載例 9・10 の融資機関、借入者、畜特資金の概要】

融資機関	住 所	中央県千代田市内神田 8 丁目 9 番 1 0 号			
	名 称	内神田農業協同組合			
借入者	住 所	中央県千代田市内神田 1 1 丁目 1 2 番 1 3 号			
	氏 名	山麓一郎			
	畜 種	酪農			
	規 模	乳牛 6 0 頭、うち経産牛 4 0 頭			
畜特資金（単位：千円）	貸付実行日	約定償還日	貸付実行額	借入残高	償還（うち据置）
大家畜・経営改善支援	17.12. 1	11.29	4,969	3,212	20（3）一部繰償
大家畜・経営改善支援	18.11.30	11.29	3,900	2,748	20（3）
大家畜・経営改善支援	19.11.30	11.29	3,034	2,314	20（3）
合計			11,903	8,274	

【記載例9】 繰上償還請求による期限利益喪失に伴う異動報告

期限利益喪失（請求期限；27.10.15）に伴う異動報告

（別紙様式第7号の別添1）貸付実行状況等異動表、証書貸付金取引履歴照会

なお、融資機関報告・委託金融機関報告については、「2貸付実行の（2）対象外貸付にある記載例4を参照して下さい。

また、借入者（山麓一郎）が期限利益請求時点で経営していたことを証明する資料を必ず添付して下さい。

様式第7号の別添1

4枚(融資機関保管分を含む)コピー

大家畜経営改善支援資金貸付実行状況等異動表

入力-3

データ区分	ブロックコード	都道府県コード	北海道支庁コード	融資機関コード	利子補給金計算期間コード	中央畜産会入力年月日
1	3	3	1	3	5 0 0 2	1 4

必ず資金名を入力すること

未記入

枚目のうち
枚目

未記入

データ区分	ブロックコード	都道府県コード	北海道支庁コード	融資機関コード	利子補給金計算期間コード	中央畜産会入力年月日	異動修正				異動理由							備考																							
							発生年月日	対象外貸付額	繰上償還額	経営中止時貸付残高	対象外貸付	繰上償還	経営中止	目的外使用	貸付対象米	長期間滞り	資金の滞留		その他の	経営の不振	その他																				
1	0	0	2	2	2	2	2	2	2	2	山麓 一郎	1	0	0	2	4	1	7	1	1	3	0	4	9	6	9	4	2	7	1	0	1	5	3	2	1	2	6	4		繰上償還請求
1	0	0	2	2	2	2	2	2	2	2	山麓 一郎	1	0	0	2	4	1	8	1	1	3	0	3	9	0	0	4	2	7	1	0	1	5	2	7	4	8	6	4		繰上償還請求
1	0	0	2	2	2	2	2	2	2	2	山麓 一郎	1	0	0	2	4	1	9	1	1	3	0	3	0	3	4	4	2	7	1	0	1	5	2	3	1	4	6	4		繰上償還請求
							4											4								4															
合計 (実)							1											(実)	1	1	9	0	3					8	2	7	4	3									

行数省略

催告書記載の請求期限、取引履歴照会の期限利益喪失登録の起算日(請求期限を表示)を記入

27.10.15における貸付残高(期限未到来約定残高)を記入

期限の利益喪失「6」を記入

- 注1. キーコード部及びデータ部の貸付対象者コードから貸付実行額まではすでに提出済みの入力-1表から転記すること。なお、入力-1表の提出後、農協合併等により、融資機関名、融資機関コード、貸付対象者コード及び貸付対象者氏名については変更があり、修正処理を行っている場合は変更後のものを記入する。
2. 異動修正欄の発生年月日は、該当する異動が発生した時点(継続確認申請をした経営中止者にあつては利子補給金の交付停止日の前日)の年月日を記入し、異動修正の金額は右寄せにより記入すること。
3. 異動理由欄は、該当する理由を一つ選んで1と記入し[その他]に該当する場合は、備考欄に具体的な理由を記入すること。
4. 同一貸付対象者で2件以上の異動が発生したときは、異動理由ごとに入れて記入すること。
5. 提出済みの異動報告書の誤りを訂正するときは、訂正事項を含む異動事項のすべてを記入するとともに前回異動修正発生年月日欄に提出済みの異動報告書の発生年月日を必ず記入すること。
6. キーコード部の「中央畜産会入力年月日」は記入しないこと。

異動発生とき:1
1の修正とき:2
1の削除とき:3

【記載例9】 繰上償還請求による期限利益喪失に伴う異動報告

[期限利益喪失登録(3件のうち1件を表示)]

5003-001 証書貸付金 取引履歴照会 27年 11月 29日 11時27分

顧客番号	000222222	顧客名	山麓 一郎		
残高管理店舗	指定期日 1	指定期日 2	勘定取引出力区分		
5003-001	26-11-29	27-11-29	勘定発生取引明細のみ出力		
貸付番号	保証番号	勘定科目	貸付実行日	最終期限	
XXXXXXXXX	<XXXXXXXXX	00920	17-12-1	37-11-29	
	貸付金額	貸付残高	約定利率	約定残高	
	4,969,000	3,504,000	1.500	0	

取引日	取引名	摘要	金額	起算日	約定日
26-11-29	約定回収	01 03			26-11-29
	償還元金		292,000		
	徴収利息		52,560		
	取引後残高		3,212,000		
27-11-29	期限利益喪失登録	01		27-10-15	
	取引後残高		3,212,000		

【記載例 10】酪農における経営中止に伴う異動報告書

別紙様式第 6 号〔提出部数 3 部（県、信農連等、中畜用）〕

畜産特別資金（**大家畜経営改善支援資金**）借入者経営中止状況報告書

番 号 **27JA内発第100号**

年月日 **平成27年11月5日**

公益社団法人 中央畜産会 会長 殿

所 在 地 **中央県千代田市内神田8丁目9番10号**

融 資 機 関 名 **内神田農業協同組合**

代 表 者 氏 名 **代表理事組合長 ○ ○ ○ ○ 印**

畜産特別資金借入者について、経営中止した者があったので、畜産特別資金融通事業実施要領第 1 の 4 の（3）の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

氏 名	貸付実行額	貸付実行日	経営中止日 の貸付残高	経営中止日	経営中止理由	継続確認 申請の有無
	千円	年月日	千円	年月日		
山麓一郎	4,969	17.12.1	3,212	27.10.30	離 農	無
〃	3,900	18.11.30	2,748	27.10.30	〃	〃
〃	3,034	19.11.30	2,314	27.10.30	〃	〃
計	11,903		8,274			

(注) 1. 貸付実行額及び経営中止日の貸付残高は確認ごとに小計を、2人以上の場合は合計を記入すること。

2. 経営中止日を証明する資料（販売代金清算書の写等）を1部添付すること。

【記載例10;酪農における経営中止に伴う異動報告】

集 乳 旬 報

(社) ○ ○ 県 酪 農 検 定 協 会

2015 年 10 月 下 旬 分

0503 受入箇所 ZZZ

0503 内神田農業協同組合

No. 1

旬 計	缶 No.	月	旬	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	31	旬 計	累 計	脂 肪	無脂固形	蛋白質	細胞数	生菌数	備 考
	0175	10	下 旬	1,319.0		1,292.9		1,296.4		1,275.4		1,314.7	473.7		6,972.1	19,458.3	4.03	8.87	3.31	41.0*	0.1	53.6*(45.6*)体細胞数 0.5(0.5)生菌数
お知らせ	山麓	一郎	殿																			

【記載例10】酪農における経営中止に伴う異動報告

[経営中止時残高(3件のうちの1件を表示)]

5003-001 証書貸付金 取引履歴照会 27年 10月 30日 11時27分

顧客番号	0002222222	顧客名	山麓 一郎	
残高管理店舗	指定期日 1	指定期日 2	勘定取引出力区分	
5003-001	27-11-29	27-10-30	勘定発生取引明細のみ出力	
貸付番号	保証番号	勘定科目	貸付実行日	最終期限
XXXXXXXXX	<XXXXXXXXX	00920	17-12-1	37-11-29
	貸付金額	貸付残高	約定利率	約定残高
	4,969,000	3,504,000	1.500	3,212,000

取引日	取引名	摘要	金額	起算日	約定日
26-11-29	約定回収	01 03			26-11-29
	償還元金		292,000		
	徴収利息		52,560		
	取引後残高		3,212,000		

【記載例 11・12の融資機関、借入者、畜特資金の概要】

借入者	住 所	中央県千代田市内神田 1 1 丁目 1 2 番 1 4 号			
	氏 名	山麓二郎			
	畜 種	肉専肥育			
	規 模	乳牛 6 0 頭、うち経産牛 4 0 頭			
畜特資金（単位：千円）	貸付実行日	約定償還日	貸付実行額	借入残高	償還（うち据置）
大家畜・経営改善支援	15. 11. 30	11. 29	9, 992	5, 988	23（3）
大家畜・経営改善支援	16. 11. 30	11. 29	5, 000	3, 250	23（3）
合計			14, 992	9, 238	

【記載例 1 1】肉用牛における経営中止に伴う異動報告

別紙様式第 6 号〔提出部数 3 部（県、信農連等、中畜用）〕

畜産特別資金（**大家畜経営改善支援資金**）借入者経営中止状況報告書

番 号 **27JA内発第100号**

年月日 **平成27年11月 5日**

公益社団法人 中央畜産会会長 殿

所 在 地 **中央県千代田市内神田8丁目9番10号**

融 資 機 関 名 **内神田農業協同組合**

代 表 者 氏 名 **代表理事組合長 ○ ○ ○ ○ 印**

畜産特別資金借入者について、経営中止した者があったので、畜産特別資金融通事業実施要領第1の4の（3）の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

氏 名	貸付実行額	貸付実行日	経営中止日 の貸付残高	経営中止日	経営中止理由	継続確認 申請の有無
	千円	年月日	千円	年月日		
山麓二郎	9,992	15.11.30	5,988	27.10.30	離 農	無
〃	5,000	16.11.30	3,250	27.10.30	〃	〃
計	14,992		9,238			

(注) 1. 貸付実行額及び経営中止日の貸付残高は確認ごとに小計を、2人以上の場合は合計を記入すること。

2. 経営中止日を証明する資料（販売代金清算書の写等）を1部添付すること。

【記載例 1 1】 肉用牛における経営中止に伴う異動報告

2015年11月 1日

〒XXXX-XXXX	00051
住所 中央県千代田市内神田11丁目12番14号	
氏名 内神田農業協同組合 山麓 二郎	様

(牛受託) 売買仕切書

< ISO > PAGE 1

〇〇市〇〇 2-1-1

〇〇食肉市場株式会社

TEL

FAX

荷口No. XXX

伝票No. XXX

上場No.	品名	性別	個体 識別番号	規格	瑕疵	枝肉			副産物				売上金額 合計	備考
						重量	単価	金額	原皮	内臓	廃棄	計		
XXXX	黒毛和種	雌	12469374xx	A4		444.0	1,700	754,800	1,000	22,200	5,000	18,200	773,000	677.0kg
小計				(1.0 頭)		444.0		754,800	1,000	22,200	5,000	18,200	773,000	
合計			(税抜)	(1.0 頭)		444.0		754,800	1,000	22,200	5,000	18,200	773,000	

連絡事項等

ア = シミ
イ = ズル
ウ = シコリ
エ = アタリ
オ = 割除
カ = その他

控除内訳	冷蔵保管料	と畜場使用料	と畜検査手数料	と畜解体料
	400	2,068	400	3,161
	格付検査手数料	事務取扱手数料	預り金	臨時解体料
	540			
	未収金	共済金	未収金2	仮払金
		300		

税額	枝肉	37,740
	副産物	910
合計		811,650
(税込)		
委託手数料		27,739
(税込枝のみ)		
控除金額合計		6,869
差引支払金額		777,042

【記載例 1 1】 肉用牛における経営中止に伴う異動報告

(独)家畜改良センター提供 ～牛の個体識別情報～

個体識別番号:12469374XX

この番号の牛について、独立行政法人 家畜改良センターに届け出られている情報は以下のとおりです。

出生の年月日	雌雄の別	母牛の個体識別番号	種別(品種)
H23.10.01	メス	11803089XX	黒毛和種

	飼養県	異動内容	異動年月日	飼養施設所在地	氏名または名称
1	〇〇県	出生	H23.10.01	〇〇市	〇〇 〇〇
2	〇〇県	転出	H24.07.09	〇〇市	〇〇 〇〇
3	〇〇県	搬入	H24.07.09	〇〇市	中央家畜市場(〇〇県)
4	〇〇県	取引	H24.07.09	〇〇市	中央家畜市場(〇〇県)
5	〇〇県	転入	H24.07.09	千代田市内神田	山麓 二郎
6	〇〇県	搬入	H27.10.30	〇〇市	〇〇卸売市場食肉市場(生産施設)
7	〇〇県	と畜	H27.10.31	〇〇市	〇〇卸売市場食肉市場(生産施設)

食肉の表示について

食肉の「産地」や「和牛」の表示については、「JAS法に基づく生鮮食品品質表示基準(農林水産省)」及び「食肉の表示に関する公正競争規約(全国食肉公正取引協議会)」により表示されることとなっておりますので、そちらをご参照下さい。

【記載例11】肉用牛における経営中止に伴う異動報告

肉牛最終出荷（最終出荷日：27.10.30）に伴う異動報告

（別紙様式第7号の別添1）貸付実行状況等異動表、証書貸付金取引履歴照会、借入者経営中止状況報告書（含む最終出荷日資料）

なお、融資機関報告・委託金融機関報告については、「2貸付実行の（2）対象外貸付にある記載例4を参照して下さい。

様式第7号の別添1

4枚(融資機関保管分を含む)コピー

大家畜経営改善支援資金貸付実行状況等異動表

入力-3

データ区分	ブロックコード	都道府県コード	北海道区分コード	融資機関コード	利子補給金計算期間コード	中央畜産会入力年月日
13	3	13		5003	12月型	4

13を記入

未記入

必ず資金名を入力すること

枚目のうち

枚目

未記入

データ区分	ブロックコード	都道府県コード	北海道区分コード	融資機関コード	利子補給金計算期間コード	中央畜産会入力年月日	異動修正				異動理由						前回異動修正発生年月日	備考
							発生年月日	対象外貸付額	繰上償還額	経営中止時貸付残高	対象外貸付	繰上償還	経営中止	その他				
1	0003333333	山麓 二郎	2202415122	99924271030	5988	1	4											
1	0003333333	山麓 二郎	22024161130	50004271030	3250	1	4											
合計 (実)							1人		14992	9238								

行数省略

・肉牛の最終出荷日を記入
 ・精算報告書は取扱機関により様々で、日付も、せり日、出荷日、精算日等があるので、その中から「最終出荷日」を選んで記入するよう留意
 ・記載例11の売買仕切書の日付は精算日であることから、牛の個体識別情報により出荷日を確認

経営中止日における貸付残高を記入

注1. キーコード部及びデータ部の貸付対象者コードから貸付実行額まではすでに提出済みの入力-1表から転記すること。なお、入力-1表の提出後、農協合併等により、融資機関名、融資機関コード、貸付対象者コード及び貸付対象者氏名については変更があり、修正処理を行っている場合は変更後のものを記入する。

2. 異動修正欄の発生年月日は、該当する異動が発生した時点(継続確認申請をした経営中止者については利子補給金の交付停止日の前日)の年月日を記入し、異動修正の金額は右寄せにより記入すること。

3. 異動理由は、該当する理由の一つを選んで「1」と記入し「その他」に該当する場合は、備考欄に具体的な理由を記入すること。

4. 同一貸付対象者で2件以上の異動が発生したときは、異動理由ごとにわけて記入すること。

5. 提出済みの異動報告書の誤りを訂正するときは、訂正事項を含む異動事項のすべてを記入するとともに前回異動修正発生年月日欄に提出済みの異動報告書の発生年月日を必ず記入すること。

6. キーコード部の「中央畜産会入力年月日」は記入しないこと。

異動発生のとき:1
 1の修正のとき:2
 1の削除のとき:3

【記載例11】肉用牛における経営中止に伴う異動報告

[経営中止時残高(2件のうちの1件を表示)]

5003-001 証書貸付金 取引履歴照会 27年 10月 30日 11時27分

顧客番号	000333333	顧客名	山麓 二郎	
残高管理店舗	指定期日 1	指定期日 2	勘定取引出力区分	
5003-001	25-11-29	26-10-30	勘定発生取引明細のみ出力	
貸付番号	保証番号	勘定科目	貸付実行日	最終期限
XXXXXXXX	<XXXXXXXX	00920	15-11-30	38-11-29
	貸付金額	貸付残高	約定利率	約定残高
	9,992,000	6,487,000	1.600	5,988,000

取引日	取引名	摘要	金額	起算日	約定日
26-11-29	約定回収	01 03			26-11-29
	償還元金		499,000		
	徴収利息		103,792		
	取引後残高		5,988,000		

【記載例 1 2】経営中止に伴う異動報告

参 考 例

270JA発第〇〇〇号

平成〇〇年〇〇月〇〇日

公益社団法人 中央畜産会
会 長 小 里 貞 利 殿

内神田農業協同組合
代表理事組合長 〇〇 〇〇 印

畜産特別資金に係る異動報告書提出遅滞の経緯及び利子補給金の
返還について（報告）

このことにつきまして、平成24年度に生じていた異動報告手続き遺漏の理由等を精査した結果を下記のとおり報告いたします。

このことにより、平成24年度利子補給金を過大に請求し、受領していたことをお詫び申し上げますとともに、今後このような事態を起こさないよう万全を期す所存です。

また、過大請求により受領した利子補給金については、早急に返還しますので、返還手続きにつきまして、ご指導をお願い申し上げます。

記

- 1 異動報告手続き遺漏が判明した契機
- 2 異動報告書提出が遅滞した理由・要因
- 3 適正な利子補給請求事務を進めるための今後の取組み

○事案毎に異なるので、事案の内容に応じて1～2の精査結果を整理し、3の再発防止策に纏めて下さい。

【記載例 1 3】借入者承認取消に伴う異動報告（設問にはないもので、記入を例示）

別紙様式第 5 号

畜産特別資金（**大家畜経営改善支援資金**）借入者承認取消報告書

番 号 ○農○○○第○○○○号

年月日 平成 2 7 年 1 1 月 1 5 日

公益社団法人 中央畜産会会長 殿

代表者氏名 ○○県知事 ○○ ○○ 印

畜産特別資金融通事業実施要領第 1 の 4 の（2）の規定に基づき、下記のとおり**大家畜経営改善計画**の承認の取消しを行ったので通知します。

記

借 受 者 氏 名	貸付実行 日	貸付実行 額	取消認定 日	承認取消 理 由	備 考
	年月日	千円	年月日		
○△ □□	17. 11. 30	10, 000	27. 11. 15	①	
○△ □□	18. 11. 30	10, 000	27. 11. 15	2	
				3	
				4	
計	2 件	20, 000			

（注）承認取消理由は、次の該当する項目から選び、数字を○で囲むこと。

- | | |
|----------------|---------------|
| 1 経営改善計画の達成が困難 | 2 承認取消しの申請 |
| 3 計画書の不実記載 | 4 後継者が経営従事の中止 |

H28.04.01 に外神田農業協同組合が、本郷農業協同組合を吸収合併。
 本郷農協には家畜飼料特別支援資金の貸付者がいる場合。

【記載例 1 4】 融資機関合併に伴う利子補給契約承継通知に係る進達
 別紙様式第 7 号の別添 2 [提出部数 3 部 (県、信農連等、中畜用。)]

合併に伴う利子補給契約の承継について (通知)

28JA 発第 10 号
 平成 28 年 4 月 5 日

公益社団法人 中央畜産会会長 殿
 県主務部長 殿
 信用農業協同組合連合会代表理事理事長 殿
(独立行政法人農畜産業振興機構理事長が適当と認めた団体にあつては当該団体の長)

所在地 中央県千代田市外神田 2 丁目 3 番 4 号
 融資機関名 外神田農業協同組合
 代表者氏名 代表理事組合長 玄 田 立 生 ㊞
 電 話 0 1 2 - 3 4 5 - 6 7 8 9 (内線) 1 0 1 1

平成 28 年 4 月 1 日付けをもって下記 1 のとおり合併し、下記 2 の融資機関が
 貴会と締結していた畜産特別資金に係る利子補給契約は当 外神田農業協同組合
 が承継したので通知します。

記

1 合併の状況

合併後の融資機関の名称	合併した融資機関の名称
外神田農業協同組合	(1) 本郷農業協同組合
	(2)
電算処理コード番号 5 0 0 2	(3)
注) 合併した融資機関には、畜産特別 資金を融資してない融資機関も 記入すること。	()
	()
	()

【記載例 1 4】融資機関合併に伴う利子補給契約承継通知に係る進達

委託機関の進達参考

28〇信連特融第20号

平成28年4月10日

公益社団法人 中央畜産会会長 殿

中央県信用農業協同組合連合会

代表理事理事長 中社 益人 ㊟

合併に伴う利子補給契約承継通知の進達について

このことにつきまして、下記融資機関から下記のとおり提出されましたので進達します。

記

1 合併農協

外神田農業協同組合

なお、外神田農業協同組合が本郷農業協同組合を吸収合併したものです。

2 進達書類

- | | |
|----------------------------|-----|
| (1) 合併に伴う利子補給契約の承継について（通知） | 1 部 |
| (2) 利子補給事業融資機関コード等変更入力表 | 部 |

(注) 融資機関合併時に貸付対象者コードが重複する場合、貸付対象者コードを整備して変更する場合、コード変更報告を併せて提出して下さい。

【記載例 15】異動報告（貸付対象者氏名変更）

（委託金融機関報告；記載例 4 参照）

別紙様式第 7 号の別添 4 [提出部数 3 部（県、信農連等、中畜用。）]

大家畜経営改善支援資金貸付対象者氏名の変更について

27JA内発第15号

平成27年4月5日

公益社団法人 中央畜産会会長 殿

県主務部長 殿

信用農業協同組合連合会代表理事理事長 殿

（独立行政法人農畜産業振興機構理事長が適当と認めた団体にあつては当該団体の長）

所在地 中央県千代田市内神田 8 丁目 9 番 1 0 号

融資機関名 内神田農業協同組合

代表者氏名 代表理事組合長 ○○ ○○ 印

大家畜経営改善支援資金貸付対象者に下記のとおり変更があつたので報告します。

記

旧貸付対象者氏名	新貸付対象者氏名	備考
[貸付対象者コード変更無]		
山麓 太郎	山麓 二郎	経営移譲
		(貸付対象者コード) 000333333
[貸付対象者コード変更有]		
山麓 太郎	山麓 二郎	経営移譲 ※

注) 備考欄には変更の理由を簡潔に記載。

【記載例 1 5】異動報告（貸付対象者名変更）

別紙様式第 7 号の別添 5

※貸付対象者氏名変更時に、コード変更を伴う場合のみ添付

貸付対象者氏名変更入力表 I

都道府県名	融資機関名
中央県	外神田農業協同組合

ブ ロ ッ ク コ ー ド	道 府 県 コ ー ド	振 興 局 コ ー ド	融 資 機 関 コ ー ド	貸付対象者コード							貸付対象者氏名				備 考			
0 3	1 3		5 0 0 2	0	0	0	1	2	3	4	5	6	7	山	麓	二	郎	

【記載例 16・17】 利子補給金請求に係る請求額の算出基礎

【融資機関：外神田農業協同組合 委託金融機関：中央県信用農業協同組合】

【記載例 16】 利子補給請求（期限：1月末一応当日型）

（単位：実行額・残高・償還額一千円、利子補給額一円）

貸付 実行日	貸付 実行額	貸付利率 (%)	利子補給 率 (%)	償還期間 (据置)	27年 期首残高	27年 償還額	27年 利子補給額
H7. 11. 30	3,044	3.50%	1.78%	21(1)	304	152	5,411
H8. 11. 30	2,097	3.15%	1.42%	23(3)	520	104	7,384
H10. 11. 30	15,004	1.10%	0.97%	23(3)	5,250	750	50,925
H12. 11. 30	7,197	2.10%	1.01%	23(3)	3,231	359	32,633
	27,342				9,305	1,365	96,353

（注）利子補給計算

27年期首残高×（26. 11. 30～27. 11. 29までの日数（閏年の年は366日））×利子補給率÷365

【記載例 17】 利子補給請求（期限：2月末一12月型）

（単位：実行額・残高・償還額一千円、利子補給額一円）

貸付 実行日	貸付 実行額	貸付利率 (%)	利子補給 率 (%)	償還期間 (据置)	27年 期首残高	27年 償還額	27年 利子補給額
H7. 11. 30	3,044	3.50%	1.78%	21(1)	304	152	5,174
H8. 11. 30	2,097	3.15%	1.42%	23(3)	520	104	7,255
H10. 11. 30	15,004	1.10%	0.97%	23(3)	5,250	750	50,287
H12. 11. 30	7,197	2.10%	1.01%	23(3)	3,231	359	32,315
	27,342				9,305	1,365	95,031

（注）利子補給計算

（27年期首残高×（27. 12. 01～27. 11. 29までの日数））＋（27. 11. 30時点残高×（27. 12. 01～27. 12. 31までの日数））×利子補給率÷365

【記載例 16 ; 利子補給金請求書 (期限 ; 1 月末) (応答日型)】
別紙様式第 9 号- 1 [提出部数 3 部 (県、信農連等、中畜用)]

畜産特別資金 (大家畜経営活性化資金) 利子補給金請求書
(平成 27 年度分) (応答日型)
(12 月型)

(該当のものに○印のこと。)

改善緊急支援資金については
次の様式第 9 号- 2 を使用

番 号 27JA農発第150号
年月日 平成28年1月15日

公益社団法人 中央畜産会
会 長 小 里 貞 利 殿
〔 信用農業協同組合連合会代表理事理事長 殿 〕
(独立行政法人農畜産業振興機構理事長が適当と認めた団体にあつては当該団体の長)

所 在 地 中央県千代田市外神田 2 丁目 3 番 4 号
融資機関名 外神田農業協同組合
代表者氏名 代表理事組合長 玄 田 立 生 ㊞

畜産特別資金融通事業実施要領第 1 の 6 の (3) の規定に基づき、利子補給金を下記のとおり請求します。

記

利子補給金請求額

貸付年度	1 次	2 次		計
平成 7 年度	5,411 円	円	円	
平成 8 年度	7,384 円	円	円	
平成 10 年度	50,925 円	円	円	
平成 12 年度	32,633 円	円	円	
	円	円	円	
合 計	96,353 円	円	円	

- (注) (1) 提出期限が同一のもののみ記入すること。
(2) 提出に当たっては、別添を添付すること。
(3) 1 次又は 2 次の場合、計の記入は必要ありません。

別紙様式第9号-2〔提出部数3部（県、信農連等、協議会用）〕

改善緊急支援資金利子補給金請求書

〔 大 家 畜 ・ 養 豚
応答日型 ・ 12 月型 〕

（該当のものに○印のこと。）

番 号 _____
年月日 平成____年____月____日

公益社団法人 中央畜産会

会 長 小 里 貞 利 殿

〔 信用農業協同組合連合会代表理事理事長 殿
（ 独立行政法人農畜産業振興機構理事長が適当と認めた団体にあつては当該団体の長） 〕

所 在 地
融 資 機 関 名
代 表 者 氏 名

畜産特別資金融通事業実施要領第1の6の（3）の規定に基づき、利子補給金を下記のとおり請求します。

記

利子補給金請求額

貸付区分		請 求 金 額	備 考
平成 26 年 度	1次	円	
	2次	円	
	3次	円	
	4次	円	
	計	円	
平成 27 年 度	1次	円	
	2次	円	
	3次	円	
	4次	円	
	計		
平成 28 年 度	1次	円	
	2次	円	
	3次	円	
	4次	円	
	計		
合 計		円	

- (注) 1. 大家畜又は養豚ごとに応答日型と12月型を別葉とし、提出期限が同一のものを記入すること。
2. 信農連等委託機関に要領第1の8の(2)の規定による事務委任を行っていない融資機関にあつては、利子補給金の振込先金融機関名、預金種目、預金口座番号及び預金口座名義を記載すること。

【記載例 16 ; 利子補給金請求書 (期限 ; 1 月末) (応答日型)】

別紙様式第 9 号の別添

平成 28 年 1 月 10 日

〔融資機関名 外神田農業協同組合〕

貸付残高等 照合者	貸付残高等 突合者
〇〇 〇〇	□□ □□

利子補給金請求に係る事務チェック表

1 貸付残高、償還計画額・利子補給額〔該当するものに〇印、日付等を記入します〕

(1) 中央畜産会から送付される都度、異動報告書提出該当案件と計算書（様式第 4 号別表）を突合して整合性を確認している。

(2) 決算時又は年度期首に農協の貸付残高データと中央畜産会の貸付残高を突合している。

(3) 利子補給金請求時に農協の貸付残高データと中央畜産会の貸付残高を突合している。
今回は〔平成 28 年 1 月 5 日〕に突合した。

(4) その他〔具体的に記入 〕

2 繰上償還、経営中止に係る異動報告〔該当するものに〇印、日付等を記入します〕

(1) 農協支店（支所）にも異動報告の提出漏れ、コンピュータで支店（支所）からの送金報告に係る異動関係データを確認し、異動報告は全て提出したことを確認している。

(2) 異動報告に漏れがあったので、〔ア 平成 年 月 日に中央畜産会に提出済、
イ 平成 年月 日に提出予定〕である。

(3) その他〔具体的に記入 〕

3 利子補給額〔該当するものに〇印、日付等を記入します〕

(1) 農協データと中央畜産会から送付された計算書と突合して整合することを平成 28 年 1 月 5 日に点検して、利子補給金請求書を作成した。

【記載例16】 利子補給金請求書（期限；1月末）（応答日型）
別紙様式第10号〔提出部数3部（県、信農連等、中畜用）〕

畜産特別資金（**大家畜経営活性化資金**） 約定償還額の償還状況報告書
 （平成**27**年度分） (応答日型)
 (12月型)

（該当のものに○印のこと。）

27JA農発第151号

平成28年1月15日

公益社団法人 中央畜産会

会 長 **小 里 貞 利 殿**

（信用農業協同組合連合会代表理事理事長 殿

（独立行政法人農畜産業振興機構理事長が適当と認めた団体にあつては当該団体の長）

所在地 **中央県千代田市外神田2丁目3番4号**

融資機関名 **外神田農業協同組合**

代表者氏名 **代表理事組合長 玄 田 立 生 ㊞**

畜産特別資金融通事業実施要領第1の6の(3)の規定に基づき、報告します。

貸付年度	当期約定償還額 千円	うち期中延滞		期末延滞		期中の受入代弁額 千円
		人数 人	金額 千円	人数 人	金額 千円	
7年度	152					計算書の償還計画（1-1又は3-1）の償還計画額、当該年度に異動が生じた場合は、異動修正計算書の償還計画（3-1）の償還計画額を計上 本件は、(注)の1の場合
8年度	104					
10年度	750					
12年度	359					
計	1,365					

(注) 1. 約定償還額の延滞していない場合は、貸付年度及び約定償還額のみ記入すること。

2. うち期中延滞欄には、当期約定償還額の延滞した者について、人数とその額を記入する。

3. 期末延滞欄には、貸付当初から当年度までの累積された延滞について人数とその額を記入する。

【記載例 17 ; 利子補給金請求書 (期限 ; 2 月末) (12 月型)】
別紙様式第 9 号 - 1 [提出部数 3 部 (県、信農連等、中畜用)]

畜産特別資金 (大家畜経営活性化資金) 利子補給金請求書
(平成 27 年度分)

(応答日型)
12 月型

(該当のものに○印のこと。)

番 号 27JA農発第150号
年月日 平成28年1月15日

公益社団法人 中央畜産会

会 長 小 里 貞 利 殿

〔 信用農業協同組合連合会代表理事理事長 殿 〕

(独立行政法人農畜産業振興機構理事長が適当と認めた団体にあつては当該団体の長)

所 在 地 中央県千代田市外神田 2 丁目 3 番 4 号

融資機関名 外神田農業協同組合

代表者氏名 代表理事組合長 玄 田 立 生 ㊞

畜産特別資金融通事業実施要領第 1 の 6 の (3) の規定に基づき、利子補給金を下記のとおり請求します。

記

利子補給金請求額

貸付年度	1 次	2 次		計
平成 7 年度	5,174 円	円	円	
平成 8 年度	7,255 円	円	円	
平成 10 年度	50,287 円	円	円	
平成 12 年度	32,315 円	円	円	
	円	円	円	
合 計	95,031 円	円	円	

- (注) (1) 提出期限が同一のもののみ記入すること。
(2) 提出に当たっては、別添を添付すること。
(3) 1 次又は 2 次のみ場合は、計の記入は必要ありません。

【記載例 17 ; 利子補給金請求書 (期限 ; 2月末) (12月型)】

別紙様式第9号の別添

平成28年1月10日

〔融資機関名 外神田農業協同組合〕

貸付残高等 照合者	貸付残高等 突合者
〇〇 〇〇	□□ □□

利子補給金請求に係る事務チェック表

1 貸付残高、償還計画額・利子補給額〔該当するものに○印、日付等を記入します〕

(1) 中央畜産会から送付される都度、異動報告書提出該当案件と計算書(様式第4号別表)を突合して整合性を確認している。

(2) 決算時又は年度期首に農協の貸付残高データと中央畜産会の貸付残高を突合している。

(3) 利子補給金請求時に農協の貸付残高データと中央畜産会の貸付残高を突合している。
今回は〔平成28年1月5日〕に突合した。

(4) その他〔具体的に記入 〕

2 繰上償還、経営中止に係る異動報告〔該当するものに○印、日付等を記入します〕

(1) 農協支店(支所)にも異動報告の提出漏れ、コンピュータで支店(支所)からの送金報告に係る異動関係データを確認し、異動報告は全て提出したことを確認している。

(2) 異動報告に漏れがあったので、〔ア 平成 年 月 日に中央畜産会に提出済、
イ 平成 年月 日に提出予定〕である。

(3) その他〔具体的に記入 〕

3 利子補給額〔該当するものに○印、日付等を記入します〕

(1) 農協データと中央畜産会から送付された計算書と突合して整合することを平成28年1月5日に点検して、利子補給金請求書を作成した。

【記載例 17】 利子補給金請求書（期限；2月末）（12月型）

別紙様式第10号〔提出部数3部（県、信農連等、中畜用）〕

畜産特別資金（**大家畜経営活性化資金**） 約定償還額の償還状況報告書

（平成**27**年度分）

（**応答日型**）
（**12月型**）

（該当のものに○印のこと。）

27JA農発第151号

平成28年1月15日

公益社団法人 中央畜産会

会 長 **小 里 貞 利 殿**

（信用農業協同組合連合会代表理事理事長 殿

（独立行政法人農畜産業振興機構理事長が適当と認めた団体にあつては当該団体の長）

所在地 **中央県千代田市外神田2丁目3番4号**

融資機関名 **外神田農業協同組合**

代表者氏名 **代表理事組合長 玄 田 立 生 ①**

畜産特別資金融通事業実施要領第1の6の(3)の規定に基づき、報告します。

貸付 年 度	当期約定 償還額 千円	うち期中延滞		期末延滞		期中の受 入代弁額 千円
		人 数 人	金 額 千円	人 数 人	金 額 千円	
7年度	152					
8年度	104					
10年度	750					
12年度	359					
				計算法の償還計画（1-1又は3-1）の償還 計画額、当該年度に異動が生じた場合は、異 動修正計算法の償還計画（3-1）の償還計画 額を計上		
				本件は、（注）の1の場合		
計	1,365					

（注） 1. 約定償還額の延滞していない場合は、貸付年度及び約定償還額のみ記入すること。

2. うち期中延滞欄には、当期約定償還額の延滞した者について、人数とその額を記入する。

3. 期末延滞欄には、貸付当初から当年度までの累積された延滞について人数とその額を記入する。

【記載例 18】
別紙様式第 11 号

畜産特別資金利子補給事業実績報告書

番 号 28〇信連特融第5号
年月日 平成28年 4月 5日

公益社団法人 中央畜産会会長 殿

所 在 地 中央県千代田市外神田5丁目6番7号
融資機関名 中央県信用農業協同組合連合会
代表者氏名 代表理事理事長 中 社 益 人 ㊞

畜産特別資金融通事業実施要領第1の7の規定に基づき、別表のとおり報告します。

【記載例 18】 事業実績報告（利子補給金実績）

別紙様式第 11 号の別表 1

平成 27 年度 畜産特別資金（大家畜特別支援資金）貸付実績報告書

（信農連等）中央県信用農業協同組合連合会

養豚は別Sheetの様式を使用

（単位：戸、件、千円）

融資機関	支庁・市町村	一般特認 経営継承	借入者数	貸付件数	貸付実行額 (A=B+C)	酪農		肉用牛		
						件数	貸付実行額 (B)	肉用牛計		肉用牛繁殖 件数
								件数	貸付実行額 (C=a+b+c+d)	
外神田農協	千代田市 外神田	一般								
		特認	1	1	25,000	1	25,000			
		経営継承								
		計	1	1	25,000	1	25,000			
		一般								
		特認								
		経営継承								
		計								
		一般								
		特認								
		経営継承								
		計								
		一般								
		特認								
		経営継承								
		計								
		一般								
		特認								
		経営継承								
		計								
		一般								
		特認								
		経営継承								
		計								
合計 (融資機関数 1)		一般								
		特認	1	1	25,000	1	25,000			
		経営継承								
		計	1	1	25,000	1	25,000			

改善緊急支援資金については計の欄(グレーの欄)のみ記入

⇒肉用牛の内訳は紙面の都合により略

【記載例 20】事業実績報告(利子補給金実績) 12月型分を例示

別紙様式第11号の別表2

平成27年度 畜産特別資金利子補給金実績報告

(信農連等)

中央県信用農業協同組合連合会
(単位：円)

融資機関名	交付請求額	交付金額の受領		融資機関への支払		備 考
		受領年月日	受領額	支払年月日	利子補給金額	
外神田農協	95,031	28.3.12	95,031	28.3.12	95,031	大家畜経営活性化資金
計	95,031		95,031		95,031	

(注) 融資機関への支払は、「振込一覧電算帳票等」を添付する。